

草の根協力支援型
2018年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	カンボジア王国
2. 事業名	カンボジア王国シェムリアップ市オールドマーケット周辺地区の防災まちづくり事業
3. 事業の背景と必要性	シェムリアップ市オールドマーケット周辺地区は、アンコール遺跡に近接し、土産物・飲食店舗が密集する観光の中心地であるが、フランス統治時代の景観を残す貴重な歴史地区でもある。一方で、火災が喫緊の課題であり、災害で文化財が失われ観光客が減少すれば地域には大きな打撃となろう。2012年から現在までに、大規模火災が12件発生している。鎮火遅延の原因として、建物間の道幅が狭く商品が多いために消防車が通れないことや消防用水の不足があるが、施設の防災管理や消防体制の脆弱性等も被害を上げた要因である。また、各店舗や住居に対する防火規制が整備されておらず、訓練実施や地区防災計画を主体的に決める地域住民・商店主・従業員からなる組織はない。そのため、防災に関する知識や自主防災の経験が乏しく、住民が自発的に改善するのは困難な状況である。また、現地の公設消防である州警察消防局の職員数も大規模火災の消火には不十分であり、住民だけでなく観光客が巻き込まれる恐れも大きい。州警察消防局と住民が役割を分担しつつ、協力する体制づくりが必要である。
4. プロジェクト目標	対象地区の出火・大規模火災リスクが抑制され、自立的な防災自治活動が継続できる。
5. 対象地域を管轄する大使館または領事館	在カンボジア日本国大使館、在シェムリアップ日本国領事事務所
6. 本事業の対象となる人々	【直接受益者】州警察消防局職員35人、対象地区の住民・商店主・従業員約60人 【間接受益者】対象地区の住民・商店主・従業員約4640人、観光客約500万人/年
7. 事業活動	1. 防災協議会を通じて、地域防災計画や防災知識を発信する。 2. 地域防災研修に住民・商店主・従業員が参加し、自主防災活動を定着させる。 3. 住民を含めた公設消防（州警察消防局）の消火体制を強化する。
8. 実施期間	2021年2月～ 2023年6月（2年5ヵ月）
9. 事業費概算額	10,498千円
10. 事業の実施体制	カウンターパートはシェムリアップ州政府とする。地域防災計画の策定および地域防災研修は、カウンターパートおよび、地区内の住民・商店主・従業員の代表10人、州警察消防局、APSARA機構（アンコール地域の文化遺産を管理する行政法人）の担当者からなる防災協議会が主導する。提案団体は全体統括を行い、州政府への地域防災計画策定指導および州警察消防局と住民が協力する可搬ポンプ操作の指導は、国内協力団体と合同で担当する。
II. 提案団体の概要	
1. 団体名	早稲田大学理工学術院総合研究所
2. 活動内容	建築・都市の防災（特に火災）に関する調査研究、技術開発。歴史的市街地（京都市、高山市、金沢市等）の保存活用のための防災計画・防災整備事業指導および関連する技術開発や自主防災組織の育成・活動支援。